

参天製薬株式会社

2007年度 中間決算説明会

中間期の概要

2007年11月5日

代表取締役会長兼CEO

森田 隆和

2007年度方針

06-10 中期基本方針である、

「世界の参天に向けた新薬候補の準備と強みが発揮できる地域での成長」
の2年度を次の年次方針に沿って実行

1. 国内事業について、既存製品の普及促進強化と新製品発売準備に注力。
2. 海外事業は、堅調に拡大し当社の強みが発揮できる北欧・東欧・ロシア/アジアで事業を拡大し、米国は臨床開発と事業開発に注力を継続。
3. 新薬候補の充実については、DE-101, DE-104を最重点候補として臨床開発を促進する。また、自社創薬、外部との共同研究開発、導入活動強化により、新薬候補の充実を行う。
4. 財務指標では、国内・海外での学術情報の収集・提供費用の増加、新製品の (DE-085, MD-14など) 新製品発売準備費用の増加、中国での自社販売網構築費用増などにより、営業利益は中間期では減少、年間で対前年増加の見通し

2007年度 中間期 ハイライト

2007年度中間期は、計画に沿って進行

1. 売上高は、前中間期比 1.1%増、519億円
2. 営業利益は、前中間期比 11.9%減、106億円
3. 中間純利益は、前中間期比 10.7%減、69億円
4. 新製品候補の充実については、DE-103が臨床第I相に進階

中期基本方針、重点施策と進捗状況ハイライト-1

2006年度 実績

2007年度実績/見通し

2008-10年度計画

1.グローバル戦略新薬候補の充実:

11. 臨床直前から申請段階における開発推進(現時点での主な候補で、他の新薬候補も着手中)

DE-101進階(P2a)

P2a

P2b(08年度)

DE-104進階(P1)

P1

P2a(08年度)

DE-085申請(日欧)*1

申請中(日欧)*1

MD-14承認(日)*1

インジェクタ-申請中(日)*1

DE-089 P3実施中(日)
*1

P3実施中(日)*1

申請(08年度)*1

*1)日本を中心とした申請・承認

12.競争力ある効果的な手法で創薬

13.導入・提携活動強化により新製品候補の充実

中期基本方針、重点施策と進捗状況ハイライト-2

	2006年度 実績	2007年度実績/見通し	2008-10年度計画
2.強みが発揮できる地域での成長			
21.日本:緑内障、角膜疾患、眼内レンズの新製品の製品価値早期最大化と既存製品の普及促進強化			
緑内障(新製品)	DE-085の上市準備開始	準備本格化	08年度上市想定 早期価値最大化
(既存品) 角膜疾患(新製品)	既存緑内障製品の拡販	継続	10年度DE-089上市想定
(既存品)	ドライアイ啓発活動 戦略策定	啓発活動展開	処方提案力向上による 処方拡大
眼内レンズ	MD-14販売戦略策定	上市準備	本格販売開始(08年度 前半を想定)
22.北欧・東欧・ロシア: オフタクイクス、並びに、既存製品の価値最大化、DE-085の上市			
新製品、既存製品の 価値最大化	既存品の普及促進活動 強化	普及促進活動継続に加 えてオフタクイクス上市 (ロシア)、 DE-085上市計画策定	
23.中国 : 現地生産開始・自販体制の早期確立による事業基盤・競争力の強化			
自社販売網構築	自社MRの採用・教育	学術訴求で処方拡大	自販開始(08年度)
24.米国 : 臨床開発・事業開発への注力			

中期基本方針、重点施策と進捗状況ハイライト-3

	<u>2006年度 実績</u>	<u>2007年度実績/見通し</u>	<u>2008-10年度計画</u>
<u>3.生産基盤強化</u>	日本・フィリピン・中国におけるライン・拠点再編による中長期的な生産基盤の強化		
31.生産ライン再編 による効率化		ライン再編基本計画策定	生産ライン再編詳細 計画策定(08年度)
	中国工場着工	中国工場竣工	中国工場稼働
<u>4.組織人材の強化</u>	人材育成と組織・体制の強化・再構築		
41.基幹人材の育成	人材実態把握	育成計画策定中	実施
42.組織力強化		企画・事業開発機能 強化済み	グロ-バル推進体制強化

参考：2006-10年度 中期数值目標

2010年度 数值目標

- 売上高： 1,150億円以上 (2005-10年度CAGR：3%以上)
- 営業利益： 320億円以上 (2005-10年度CAGR：8%以上)
- 当期純利益： 220億円以上
- ROE： 13%以上
- 研究開発費： 160億円を目標

将来見通しに関する注意事項

- 本発表において提供される資料ならびに情報は、いわゆる「見通し情報」(forward looking statements)を含みます。これら見通しを実現できるかどうかは様々なりスクや不確実性などに左右されます。従って、実際の業績はこれらの見通しと大きく異なる結果となりうることをご承知おき下さい。
- 日本ならびにその他各国政府による医療保険制度や薬価等の医療行政に関する規制が変更された場合や、金利、為替の変動により、業績や財政状態に影響を受ける可能性があります。
- 新薬の研究開発から承認・発売まで非常に長期間を要し、開発中止、承認申請後の不許可など不確実性を多く含みます。新製品に関わる見通しは、他社との開発・販売提携等を前提とするものが含まれており、こうした提携の成否は当社の業績や財務状況に影響を与える可能性があります。
- 現在発売している主要製品や将来発売が予定されている大型新薬が、万が一特許失効、製品の欠陥、予期せぬ副作用などの要因により、販売中止となったり、売上が大幅に減少した場合、業績や財政状態に大きな影響を及ぼします。また、当社が販売している製品の多くは、他社から製造販売権、ならびに販売権を供与されていますが、契約期間満了後、契約条件の変更や、販売提携の解消などが起こった場合、業績に影響を及ぼします。
- 原材料の中には供給を特定の取引先に依存しているものがありますが、何らかの要因によりこうした原材料の供給が停止した場合や、これに起因して当社の製品の供給が滞った場合、業績に悪影響を及ぼす可能性があります。